

令和2年度 第1回魚沼市総合教育会議 会議録 (要点筆記)

1 日時	令和2年9月11日(金) 15:00～16:40			
2 会場	魚沼市役所 小出庁舎 302会議室			
3 出席者 (敬称略)	魚沼市総合教育会議			
	役 職	氏 名	出 欠	
	市 長	佐藤 雅一	○	
	教育長	梅田 勝	○	
	教育長職務代理者	星 麻衣	○	
	教育委員	高橋 昇	○	
	"	浅井 誠哉	○	
	"	八木 由美子	○	
		魚沼市 事務局長 吉澤国明 学校教育課長 齋藤勝浩 子ども課長 小林 淳 生涯学習課長 大桃 明 政策監 伊佐貢一 統括指導主事 吉田勇一 管理指導主事 島田昌幸 管理指導主事 吉橋 哲 学校教育課副参事 佐藤彰弘 学校教育課主任 渡邊眞絵 事務局 秘書広報課長 森山丈順 広報広聴係長 広瀬 大		
4 議事内容	市長あいさつ 議事 魚沼市として家庭・地域・園・学校が協力してどんな子に育てたいか。そのために、幼児教育、義務教育、高等教育でどんな施策が必要か探る			
5 配布資料	日程及び関係資料			

6 議事録

開会

市長あいさつ

(市長) 新型コロナウイルス対策のため、子どもたちはマスクをして過ごすことも多く、生活面で苦勞していると思うが、学べる環境はしっかり整えてあげたい。新聞報道でもあったように教育再生実行会議から「3密回避と少人数学級を」という答申があったが、教員の数の不足や施設の充実の課題などもあり、実現には時間もかかると思う。まずはワクチンができて新型コロナが終息していくことを期待している。そのような中で、教育現場と教育委員の皆さんで隙間をうまく埋めてもらって、より良い学習環境・学校環境を整備していきたいと考えている。今年度当初より、現場と教育委員と行政とを繋ぐ

役割として教育政策監を置いている。

また、エアコン設置、防犯カメラ設置、建物の長寿命化、手洗浄自動化及びトイレの様式化など、学校生活でも普段と同じ生活を送ることができる環境整備を進めている。教育委員と行政がみんなで行動して、魚沼市の子どもたちが自由にのびのびと学ぶことができる学級・学校・環境を整えたいと考えているので、よろしくお願いします。

議事（１）魚沼市として家庭・地域・園・学校が協力してどんな子に育てたいか。そのために、幼児教育、義務教育、高等教育でどんな施策が必要か探る

（市長）資料を準備しているので、伊佐政策監から説明をお願いします。

（伊佐政策監）コミュニティスクールの実施が目前に控えている。地域と学校が育てたい子ども像を明確にして、その実現に向けて取り組むということが大事なこと。今日は、魚沼市全体として、どのような子どもを育てたいのかという願いを聞けるとありがたい。その際、教育委員会としてはどうしても小中学校のことに目線が行きがちだが、幼稚園保育園から高等学校まで全体を見据えた中で議論していただきたい。

（以降、資料に基づき P3 から P10 まで説明）

（市長）地方自治体が動けば国も動きやすい。保育料の無償化やエアコンの補助金なども、行動を起こすことで、国を動かすことができる。それらを踏まえて、英語力の向上のためには、ALT(外国語指導助手)を各校に1名ずつ設置するくらいの取り組みを考えている。市職員も地元の高卒を採用する枠を設けている。高校を卒業して地域外に流出させないための取り組みでもあるが、中学校までに地域を思う気持ちをどう育てるかなどは課題である。行政としてひとつひとつアクションを起こしていきたいので、委員の皆様からもご意見をいただきたい。

（星委員）英語力向上に関して、市として何か考えていることはあるか。また、ALTの授業に対する関わり方はどうなっているのか。

（市長）英語検定料の補助もこれから検討したい。ALTは予算を付けて公募しているが適任者の応募がなかなか無いのが現状です。子どもが小さいころから英語が耳に入ってくるような環境が必要だと思っている。英語のみを話す大人が学校にいても良いと思っている。外国人であれば、子どもたちの印象も違う。

（浅井委員）子どもたちは英語に対して苦手意識を持っている。サマースクールなど楽しんで英語に触れる機会が必要なのではないかと感じている。

（市長）英語に触れる機会を提供することは大切だと考えている。東京では教育の選択肢が違って学びたければ自分で選ぶことができるが、魚沼市の子どもたちが「環境が整っていれば学べたのに」という後悔をしてほしくない。語学も地域のスポーツと同じように学べる環境づくりが必要だと感じている。

（教育長）大学の進学率が低い、英語がなかなか身につくことがない、などの現実を踏まえて考えてみると、「自分の考えをしっかりと表現していない」「家庭学習時間が少ない」という魚沼の子どもたちの課題が見えてくる。環境のせいばかりにするのではなく、子どもの学ぶ意欲を刺激して掘り起こしていかなければならない。都会と比べると高校も数が少ないた

め、挑戦しなくても一定の高校に入れてしまう。これからの魚沼の子どもたちには、刺激し合う、持っている力を発揮する、ということにもっと力を入れていくべきだと感じている。

(市長) 子どもを保育園に入れたがるのも分かるが、親が育てられるのであれば、3歳までは家庭でしっかり育ててください、と話をしてくれている。勉強する意欲を身に付けることができるのは親だと考えている。

(星委員) 親も子の教育に関して不安であるし、生まれる前から子育ての情報を求めている。親に対しての教育や情報提供も必要ではないか？

(吉澤事務局長) これまでも妊娠からひと続きで支援できる体制をとってきたし、今年から子育て世代包括支援センターも出来た。より一層スムーズに支援していきたい。

(市長) 子育ての駅「かたくり」は、保健、保育、健康、栄養相談など子育て世代の悩みを語り合えるような交流の場になることをコンセプトとしている。いろいろな施設や方法を活用して子育てを支援していきたいと思っている。

(教育長) 毎月決まった日を「家族の日」として、家族が団らんでできるように市全体で取り組んでいるところもある。子育ての3歳までが重要であることを市全体で認識して、機運を高めていかなければならないと感じている。

(星委員) 高校ではこれから、総合的な探求の時間が始まると思うが、良い取り組みだと感じている。生徒が率先して地域の祭りに関わっていった例もある。

(市長) 大の阪などの祭りや行事は地域を学べるし、小さなうちから巻き込めれば地域愛を育む良い機会となる。

(星委員) 中学校では学校も地域も同じ子どもだけになるので、高校生が地域と関わっていくことが大事だと思う。

(伊佐政策監) 小出高校を見てみると、地元出身の教員が居ない。学校と地域を結ぶ地域コーディネーターが必要だと感じている。

(高橋委員) 将来に関連付けて英語の必要性を自分なりに理解させる取り組み、環境づくりが必要だと思う。ALTにある程度教え方の主導権を与えて、子どもがカルチャーショックを受ける程の刺激を与えて、何をやるにも国際化と切り離せないことを理解させ、本気で学ばないといけないという意識を持たせることが必要だと感じている。ALTを校内校外で調整し有効活用して、英語の授業を活性化してほしい。

また、去年の4月の新潟日報に記事では、中学3年生の英語力調査で新潟県は全国で46位と公表されている。その理由を考えてもらいたい。近県では上位の県も多く、新潟県の子どもたちの能力に差があるとは考えにくい。教え方に原因があるのではないか。小学校の英語授業では専任の教員が教えているのか、それとも担任が教えているのか、教えてほしい。

(伊佐政策監) 小学校でも専科化が進みつつあり、英語専任1名を配属している学校が3校あるが、その他の学校は担任とALTで対応している。高学年の授業はコミュニケーションに特化しているし、教材や研修も確立しているため、専任でなくとも十分対応は可能だと考えている。むしろ英語より理科の方が、選任を求める先生の声は多い。

(市長) 将来的な進路や職業などの夢に結び付けて教育していくのはどうか。1 企業人としても英語は必須になってきている。授業だけでなく生活の中で英語に親しめる工夫をしていかなければならないのではないか。

(伊佐政策監) 自ら世界に関心を持って英語を勉強したいという子どもを育てたい。そのためにもグローバルとローカルを合わせた、グローカル教育が大事だと考えている。

(八木委員) 私の中で子育てとは、子どもが自立して自分で稼げるようにすることだと思っている。生きていく力を育てていくことが大切なことであり、そのためにコミュニティスクールは子どもにとって良い機会だと感じている。

(市長) いじめが引きこもりのきっかけとなる場合もあるが、昨年「魚沼市いじめ・差別等を防止して人権を守る条例」を制定し、「魚沼市いじめ・差別等追放都市宣言」も行い、いじめが無くなるように働きかけている。また、ニートの人の働くきっかけづくりにも取り組んでいる。

(伊佐政策監) 幸せに生きていくことを自分で考えて学ぶ。そのような子どもを育てていきたいと思う。

(教育長) 様々な意見などを出していただいたが、それらに対して具体的に挑戦していくことが市の教育レベル向上につながると思う。

(市長) 何をするにも高いレベルを目指すべきと思っている。今日はいろいろな話を聞かせていただいたので、来年度予算編成に対しての方向性が見えてきたと感じている。これを教育委員会での精度を高めて実行できる仕組み作りに取り組みたい。幼児からの一貫した教育を目指すのでよろしくお願ひしたい。

閉会